

ARTISTS' FAIR KYOTO 2025 マイナビ ART AWARD 受賞速報！ 本日開催「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025」

開催期間：2025年2月28日(金)-3月2日(日)

臨濟宗大本山 東福寺でのアドバイザーボード展は3月6日(木)まで



京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会は、歴史と伝統が息づく京都を舞台にしたアーティスト主導のアートフェア「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025 (アーティスト フェア キョウト)」を2025年2月28日(金)より開催します。

8回目を迎える本フェアは、次世代のアーティストが世に羽ばたくためのきっかけづくりとして、また来場者とアーティストとの直接的なコミュニケーションを生み出す新しいスタイルのフェアとしてアップデートを続けてきました。今回も「Singularity of Art (シンギュラリティ オブ アート)」をテーマに、ディレクター椿昇のもと、これまでのアートフェアの枠組みを超えた、新たなアートシステムの創造を促進します。

開催に先駆けた2月27日(木)には「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025 マイナビ ART AWARD (以下、マイナビ ART AWARD)」の授賞式が行われました。「マイナビ ART AWARD」は「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025」出品作品を対象に、特に優れたアーティストを選出するアワードです。2021年の創設以来、メイン協賛企業支援のもと、新しい芸術の創造に取り組むアーティストの創作活動を奨励するとともに、最優秀賞受賞者へは企画開催費用及び新作制作費用として賞金が授与されます。2025年のアワードでは、最優秀賞に本岡景太、優秀賞は、Andrés Mario de Varona(アンドレス・マリオ・デ・ヴァローナ)、寺澤季恵、土屋咲瑛、和出伸一が受賞し、今後のさらなる活躍に期待が寄せられました。ほかメイン会場では、受賞作品を含む、若手アーティスト40組による多種多様な表現手法の作品が、趣の異なるユニークヴェニューを舞台に展示・販売されます。また、京都の街中で展開されるサテライトイベントやトークイベント、アーティストの創作の裏側に触れるオープンスタジオ企画など多彩な関連イベントが繰り広げられます。アートで彩る早春の京都で、特別なひとときをお楽しみください。



ディレクターの椿昇による挨拶の様子



審査委員、左から椿昇、中井康之、飯田志保子



株式会社マイナビ 執行役員 落合和之 からトロフィーを授与される本岡景太

プロジェクトに関するお問い合わせ
京都府、京都新聞
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
(事務局：京都府文化生活部文化芸術課)
<https://www.artists-fair.kyoto/>

取材・掲載についてのお問い合わせ
取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。
広報担当：篠原礼子 (liil inc.)
E-mail:reiko@liil.com / CEL : 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます
<https://bit.ly/4aBUJYt>



ARTISTS' FAIR
KYOTO 2025



ARTISTS' FAIR KYOTO:
SATELLITE 2025

「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025 マイナビ ART AWARD」受賞者 ※[]カッコ内は推薦アーティスト、又は公募選出

最優秀賞



本岡景太[大巻伸嗣] 会場：京都新聞ビル 地下1階

1999年広島県生まれ。2024年東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻修士課程修了。同年、同研究領域博士後期課程在学中。「歪曲張り子」という独自の技法で彫刻作品を制作する。彫刻と絵画の中間に位置するような作品を生み出し、芸術の探求を行っている。2024年「貼る点の遙か」文芸学、2023年「めくりあげたら衛星が飛んだ」MATTER、などの個展をはじめとした、日本各地のギャラリーでの数多くの展覧会を開催した。「EASTEAST」や、台北で行われた「ART FUTURE 藝術未来2024」などのアートフェア、「宮若国際芸術トリエンナーレ」などのトリエンナーレにも参加している。

URL : <https://artists-fair.kyoto/artists/keita-motooka/>

優秀賞

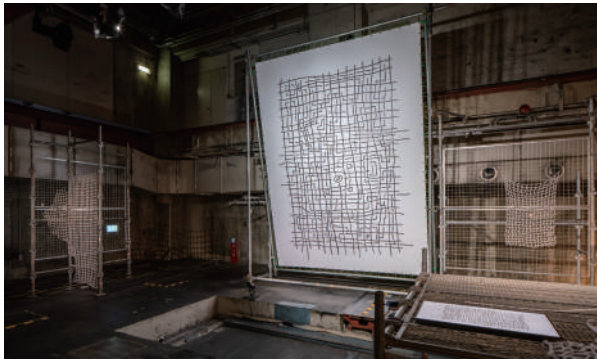


Andrés Mario de Varona(アンドレス・マリオ・デ・ヴァローナ)
[オサム・ジェームス・中川] 会場：京都国立博物館 明治古都館

キューバの家庭に生まれ、キューバ系アメリカ人としてマイアミで育った。イメージや文章への興味を持ちながらも、実用的な手段を取ることにプレッシャーからジャーナリズムの道に進んだ。しかし自身の創造することへの欲求に気がつき、自分にとって嘘のない言語を話すことを少しずつ覚えていく。この発見は母親の死がきっかけとなっており、またその経験が自身をより深く知る必要性を刺激した。その後、マイアミから離れるためニューメキシコへ移住。砂漠での生活で、死に対する執着は生への執着と変容してゆき、他者と真に繋がるということの意味を探求するようになった。Booksより初のモノグラフ『Our Own Roof』を出版予定。

URL : <https://artists-fair.kyoto/artists/andres-mario-de-varona/>

優秀賞



土屋咲瑛[椿昇] 会場：京都新聞ビル 地下1階

1999年大阪府生まれ。2024年京都市立芸術大学大学院美術研究科美術専攻油画修了。現在は大阪、京都を拠点に活動。

URL : <https://artists-fair.kyoto/artists/sae-tsuchiya/>

優秀賞



寺澤季恵[薄久保香] 会場：京都新聞ビル 地下1階

1997年 静岡県生まれ。2020年多摩美術大学工芸学科、2022年富山市立富山ガラス造形研究所研究科卒業。現在は金沢卯辰山工芸工房にてガラス作品制作を行う。“生命”を大きなテーマとし、彫刻やインスタレーションで表現する。主な展覧会に2024年個展「生生-ショウジョウ-」Gallery O2、「Hysterik Nature」三越コンテンツギャラリー、2022年「KUMA EXHIBITION」ANB Tokyoなど。

URL : <https://artists-fair.kyoto/artists/kie-terasawa/>

優秀賞



和出伸一[池田光弘] 会場：京都国立博物館 明治古都館

1976年静岡県生まれ。象灯舎代表。1997年京都芸術短期大学造形芸術学科洋画コース卒業。2008年第23回 ホルベイン・スカラシップ奨学生。著書「身土:人の世の底に触れる」(あいり出版, 2023)。ここ10年ほどは発表から少し離れ、描くこと、つくることを一から手探りで捉え直そうと試みている。主な展覧会に、2004年「SIGNAL」ギャラリー RAKU、2005年「Life/Painting」ギャラリー RAKU、2014年「Art Court Frontier 2014 #12」アートコートギャラリーなど。

URL : <https://artists-fair.kyoto/artists/shinichi-wade/>

プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
(事務局：京都府文化生活部文化芸術課)
<https://www.artists-fair.kyoto/>

取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。
広報担当：篠原礼子 (liil inc.)
E-mail: reiko@liil.com / CEL : 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます
<https://bit.ly/4aBUJYt>



左から)ディレクター 椿昇、株式会社マイナビ 執行役員 落合和之、和出伸一(優秀賞)、Andrés Mario de Varona(アンドレス・マリオ・デ・ヴァローナ)(優秀賞)、本岡景太(最優秀賞)、寺澤季恵(優秀賞)、土屋咲瑛(優秀賞)、京都府知事 西脇隆俊

Lead Partner

未来が見える 世界をつくる。

 **マイナビ**

若手アーティストの活力となり、世界を見据えた活躍の場の拡大へ

マイナビは、「一人ひとりの可能性と向き合い、未来が見える世界をつくる。」をパーパスに掲げています。HR やメディアなど幅広い領域において、人々や社会の未来をサポートするための事業を展開しており、2023年7月にはアート事業として、人々の多様な働き方や、自分らしい生き方のナビゲートを目的とし、アートやアート思考に根ざしたプログラムを開催する施設「MYNAVI ART SQUARE (東京・銀座)」をオープンしました。本アワードが目指す“アーティストの可能性を切り開き、新しい一步を踏み出すきっかけとなる”という趣旨に共感し、2022年より協賛を始めました。マイナビ ART AWARD から新たな才能が生まれ、アーティストの活躍の場を広げる機会となれば幸いです。今年度も世界に羽ばたく若手アーティストが見出されることを期待しています。

<https://www.mynavi.jp>

「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025」会場の様子

「ARTISTS' FAIR KYOTO 2025」の会場となる京都国立博物館 明治古都館、京都新聞ビル 地下1階、臨済宗大本山 東福寺という、趣の異なる3カ所のユニークヴェニューを舞台に、ペインティングからテクノロジーを駆使したインスタレーションまで、若手アーティストによる多種多様な表現手法の作品を展示・販売します。



京都国立博物館 明治古都館

日本建築界の草分けの一人、宮内省内匠寮の技師であった片山東熊(かたやまとうくま)設計の京都国立博物館 明治古都館がメイン会場に。日本的な抒情性や繊細な感覚が表現された建造物とアートとの融合をお楽しみください。



京都新聞ビル 地下1階

輪転機のインクの跡や匂いの残る、インダストリアルな空気の漂う空間。大型作品やインスタレーションを中心としたサイトスペシフィックな作品が出品されます。異なる雰囲気を持つ、2つのメイン会場をお楽しみください。



臨済宗大本山 東福寺

ARTISTS' FAIR KYOTOで毎年話題を集めるアートユニットYottaによる作品「花子」が、今年は臨済宗大本山 東福寺に登場。時折作品から発せられる一言に、来場者の足を止め、笑いを誘います。



臨済宗大本山 東福寺(方丈)

京都五山の一つに数えられる名刹、東福寺。壮麗な建造物群とならび、近代日本庭園の名匠・重森三玲が手がけた「八相の庭」でも知られ、方丈を中心に東西南北に庭園を巡らせた各庭の意匠は、現代芸術の抽象的構成を取り入れた近代禅宗庭園の白眉として、広く世界各国に紹介されています。東福寺の象徴的な空間を舞台に、時代を超えて響き合う現代アートとの饗宴をお楽しみください。

■ 参加アーティスト []内は推薦アーティスト、又は公募選出者

京都国立博物館 明治古都館 (24組): Andrés Mario de Varona(アンドレス・マリオ・デ・ヴァローナ)[オサム・ジェームス・中川]、宇野湧[公募]、大角ユウタ[ミヤケマイ]、小笠原盛久[田村友一郎]、岡村よるこ[公募]、岡本里栄[伊庭靖子]、川村摩那[公募]、佐直麻里子[津田道子]、しまうちみか[ロバート・プラット]、清水信幸[加藤泉]、Jaclyn Wright(ジャクリン・ライト)[オサム・ジェームス・中川]、白井桜子[大庭大介]、橘葉月[鶴田憲次]、儲観雯(チョセイブン)[公募]、中崎由梨[田村友一郎]、長沢楓[大庭大介]、林可奈葉[鬼頭健吾]、福田滯[ロバート・プラット]、松尾昌樹[公募]、本岡景太[大巻伸嗣]、山越美佳[公募]、山田千尋[公募]、山本真実江[鶴田憲次]、和出伸一[池田光弘]

京都新聞ビル 地下1階 (16組): 諫山元貴[名和晃平]、大澤一太[池田光弘]、オヤマアツキ[公募]、吉川永祐[津田道子]、久保木要[公募]、久保田萩須智広[薄久保香]、熊谷卓哉[ヤノベケンジ]、桑原ひな乃[Yotta]、柴田まお[大巻伸嗣]、土屋咲瑛[椿昇]、寺澤季恵[薄久保香]、中村直人[公募]、丹羽優太[椿昇]、松井照太[鬼頭健吾]、ヤマモトコウジロウ[Yotta]、山本紗佑里[伊庭靖子]

臨済宗大本山 東福寺 (アドバイザーボード 15組 ※ディレクター含む): 池田光弘、薄久保香、大庭大介、大巻伸嗣、オサム・ジェームス・中川、加藤泉、鬼頭健吾、田村友一郎、津田道子、椿昇、鶴田憲次、名和晃平、ミヤケマイ、Yotta、ロバート・プラット

プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞
ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会
(事務局: 京都府文化生活部文化芸術課)
<https://www.artists-fair.kyoto/>

取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。
広報担当: 篠原礼子 (liil inc.)
E-mail: reiko@liil.com / CEL : 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます
<https://bit.ly/4aBUJYt>



ARTISTS' FAIR KYOTO 2025

メイン会場

会場： 京都国立博物館 明治古都館（京都市東山区茶屋町527）
京都新聞ビル 地下1階（京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町239）
日程： 2025年2月28日（金）～3月2日（日）
時間： 京都国立博物館 明治古都館 9:30-17:00（最終入場16:30）
京都新聞ビル 地下1階 10:00-17:00（最終入場16:30）

アドバイザーボード展会場

会場： 臨済宗大本山 東福寺（京都市東山区本町15丁目778）
日程： 2025年2月28日（金）～3月6日（木）
時間： 9:00-16:00（最終入場15:30）

入場料： 京都国立博物館 明治古都館：一般2,000円/大学生1,000円（要・学生証）

※チケットのご提示で、京都国立博物館 平成知新館の名品ギャラリー（平常展示）を無料でご覧いただけます。（特別展の観覧は、別途入場料が必要です。）

※未就学児は無料（要保護者同伴）

※高校生以下無料（要・学生証）

京都新聞ビル 地下1階：無料

臨済宗大本山 東福寺（方丈）：一般・大学・高校500円/小学・中学300円

※未就学児は無料（要保護者同伴）

※障がい者手帳等をご提示の方と付き添い1名までは無料

URL： <https://artists-fair.kyoto/>

<お問い合わせ>

ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会事務局

TEL： 0120-068-330（10:00-17:00）

メイン協賛：株式会社マイナビ

主催：京都府、京都新聞、ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会

後援：経済産業省、文化庁、京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会

特別協力：臨済宗大本山 東福寺

■メイン会場



京都国立博物館 明治古都館



京都新聞ビル 地下1階

■アドバイザーボード展会場



臨済宗大本山 東福寺

プロジェクトに関するお問い合わせ

京都府、京都新聞

ARTISTS' FAIR KYOTO実行委員会

（事務局：京都府文化生活部文化芸術課）

<https://www.artists-fair.kyoto/>

取材・掲載についてのお問い合わせ

取材依頼、画像提供、ご不明点などお気軽にお問い合わせください。

広報担当：篠原礼子（liil inc.）

E-mail:reiko@liil.com / CEL : 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます

<https://bit.ly/4aBUJYt>